

いちごのホコリダニ類に

適用拡大

アザミウマとホコリダニを同時防除!

ククメリス[®] EX

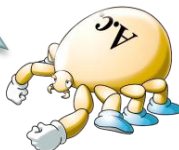
有効成分：ククメリスカブリダニ
 製 剤：50,000頭 / 1L ボトル
 その他成分：サトウダニ、フスマ等



【適用害虫と使用方法】 ※野菜類、いちご抜粋

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ククメリスカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	50~100頭 / 株	発生初期	-	放飼	-
いちご (施設栽培)	ホコリダニ類	200頭 / m ²				

チャノホコリダニ
シクラメンホコリダニ
両種に有効です



2024年12月現在

ククメリスカブリダニについて

- 雌成虫の体長：約0.3mm
- 生涯産卵数：雌1頭当たり約50卵
- 日当たり捕食量：アザミウマ1齢幼虫 約6頭/日、ホコリダニ成虫 約7頭/日
- 捕食範囲：アザミウマ類、ホコリダニ類、ハダニ類の卵
- 活動可能温度：12~35℃



広食性の天敵なので、害虫がいなくても微小生物や花粉等を餌として定着可能です。害虫が多発生している状態では増殖を抑制できないため、導入前に徹底防除し導入後も天敵に影響の少ない薬剤で定期的な防除をしてください。

いちごのホコリダニ被害

- チャノホコリダニ、シクラメンホコリダニの体長は0.2~0.3mmで確認は困難。
- イチゴでの被害は新葉の萎縮、幼果の褐変、葉の奇形等を引き起こします。
- 新芽や花房に寄生すると薬剤がかかりづらく、難防除。
- ホコリダニの被害は多くが育苗期からの持ち込みで発生しています。例年発生する圃場では育苗期から薬剤散布を徹底し本圃ではククメリスの放飼をお勧めします。



ホコリダニ被害で萎縮した株



がく裏に寄生したホコリダニ



果実が褐変



ホコリダニ天敵 利用のポイント

<ククメリス導入スケジュール例>

マルチ ビニル被覆 開花	収穫開始		収穫				
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
10月～11月 ククメリス[®]EX 4本 / 10a アザミウマ同時防除の場合 4～6本 / 10a	被害が見えたら追加放飼 ククメリス[®]EX 4本 / 10a アザミウマ同時防除の場合 4～6本 / 10a		収穫終盤は 化学農薬 主体の防除 に切替え				
天敵放飼前に徹底防除	3本を圃場全体に均一に、1本をホコリダニ発生箇所または発生しやすい場所に集中的に放飼						

育苗期後半
～定植

★例年ホコリダニが問題になる圃場では育苗期から防除を徹底
 モベントフロアブル（天敵影響35日以上）
 サンマイトフロアブル（天敵影響30日）

定植後

開花始め
天敵放飼期

★開花後、11月上旬までに導入してしっかり増やしておくことが重要！
 放飼前にコロマイト水和剤（天敵影響7日）を散布して
ククメリスEX 4本/10a 放飼

天敵放飼後

★ホコリダニが発生したら天敵に影響の少ない剤を散布して
ククメリスEXを追加放飼（発生箇所に集中的に放飼！）
 スターマイトフロアブル（全面散布）、サフオイル乳剤（スポット散布）

- 農薬影響はスパイカルEX、スパイデックスバイタルとほとんど同じです。
 天敵に影響ある剤(影響日数)：アニキ(7日)、コテツ(14日)、アフーム(7日)
 併用できるダニ剤：ダニオーテ、ダニコング、ダニサラバ、マイトコーネ、カネマイト
 併用できるアザミウマ剤：カウンター、ファインセーブ、プレオ、ポタニガードES、マツチ

放飼後2か月

放飼後3か月

新芽が回復



被害葉に産卵されたククメリスの卵



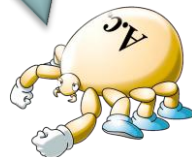
きれいな花房



新葉展開

被害の痕

薬液がかかりにくい葉裏や新芽、花房にいるホコリダニをククメリスが捕食！



がく裏に定着したククメリス